

第2学年英語科学習指導案

学校名：津市立朝陽中学校

1. 単元名 『Lesson7 World Heritage Sites』

2. 目標

(1) 関心・意欲・態度

ペアワークやグループワークなどにおいて、協力し合うことができる。

(2) 表現の能力

比較級、最上級の文法構造を理解し、LEGO を使用しながらそれらを表現できる。

(3) 理解の能力

比較級、最上級の文法構造を理解し、また、他者が発表するそれらの英文を聴き取って理解することができる。

3. 指導上の考察

(1) 教材について

『Unit 7』は、数名の生徒がそれぞれの興味を持った世界遺産について紹介をする題材である。異文化に対する理解と関心を持たせやすい題材であるので、それを通して比較級と最上級の理解と定着を図りたい。

基本文型は「形容詞+er than ～」「the 形容詞+est」、および「more 形容詞 than ～」「the most 形容詞」であるが、文構造の理解を苦手とする生徒は、比較級の「-er 型」と「more 型」との区別ができなかったり、最上級の「-est 型」と「most 型」の違いがわからなかったりすることが考えられる。

(2) 指導について

文構造の理解を苦手とする生徒に対しては、何回も繰り返し音読をすることと、Talk and Talk を用いた pattern practice で基本文型の定着を図ることができると考える。従って、基礎的な文構造を反復練習する時間を確保していきたい。発表が苦手な生徒については、ペアワークで意欲を高めることで支援したい。

本校では、一人ひとりの特性に応じて多様な学習活動を組織し、評価を生かしたきめ細かな指導を一層推進するために、2・3年生の英語の授業は少人数授業を取り入れている。英語科の授業においても、生徒一人当たりの発話量が増えることや、ペアワーク・グループワーク時に、生徒どうしが学び合い意欲を高めることができる点で、効果的であると考えている。

4. 指導計画（全4時間）

第1時： 「比較級(-er 型)の形・意味・用法を理解し、それを用いて簡単な対話ができる。

第2時： 教科書本文の内容を読んで、理解することができる。

第3時： 「最上級(-est 型)の形・意味・用法を理解し、それを用いて簡単な対話ができる。

- 第4時： 教科書本文の内容を読んで、理解することができる。
- 第5時： 比較級(more 型)の形・意味・用法を理解し、それをを用いて簡単な対話ができる。
- 第6時： 最上級(most 型)の形・意味・用法を理解し、それをを用いて簡単な対話ができる。
- 第7時： 教科書本文の内容を読んで、理解することができる。
- 第8時： 第1時～第7時までの内容を復習することで理解を深め、それを運用することができる。

本時 8 / 8

5. 本時の指導

(1) 目標

ア 関心・意欲・態度

ペアワークやグループワークなどにおいて、協力し合うことができる。

イ 表現の能力

比較級、最上級の用法を用いて、グループでまとまりのある話を表現できる。

ウ 理解の能力

比較級、最上級の形・意味・用法を聴き取り、理解することができる。

(2) 本時の評価観点評価基準

観点	評価規準	A	B	評価方法
関心・意欲・態度	ペアワークやグループワークにおいて、協力し合うことができる。	積極的な姿勢で活動に取り組み、協力し合うことが十分にできる。	活動に取り組み、必要に応じて協力し合うことができる。	観察
表現の能力	比較級、最上級の文法構造を理解し、LEGOを使用しながらそれらを表現できる。	比較級、最上級の用法を用いて、グループでまとまりのある話を表現できる。	比較級、最上級の用法を用いて、グループでテーマに沿った話を表現できる。	発表
理解の能力	比較級、最上級の文法構造を理解し、また、他者が発表するそれらの英文を聴き取って理解することができる。	比較級、最上級の形・意味・用法を正確に聴き取り、理解することができる。	比較級、最上級の形・意味・用法をある程度聴き取り、理解することができる。	観察 振り返りシート

(3) 指導過程

時間	学習活動	指導上の留意点と教師の支援
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none">英語で挨拶をする。英語で説明される本時の目標を聴き取り、ペアで確認し合う。	<ul style="list-style-type: none">大きな声、元気な表情できているか確認する。英語での説明をしっかりと聞いているか確認する。ペアワークが活発に行われているか留意する。
復習 (5分)	<ul style="list-style-type: none">Lesson7 で学習した内容をペアワークで復習する。 比較級 (-er 型)、最上級(-est 型) 比較級(more 型、最上級(most 型) の基本文を復唱する。	<ul style="list-style-type: none">正しい発音、リズム良く復唱できているか確認する。ペアワークが活発に行われているか留意する。
展開 1 (10～15分)	<p>LEGO で物語を表現しよう。</p> <ul style="list-style-type: none">4人～5人を1グループとし、各グループで教師から提示された「テーマ」に沿ったLEGOの作品を制作する。 (※グループ毎にテーマは異なる。)制作中は、他グループに自分たちのテーマが何であるかを知られないように気を付ける。	<ul style="list-style-type: none">グループ内で役割を決めさせる。 →リーダー、構成担当、辞書担当、メモ担当メモ担当には制作中に、必要に応じてワークシートのメモ欄を活用させる。グループのメンバー全員が制作に関わっているか留意する。制作中に、他グループに自分たちの「テーマ」が何であるかを悟られないように、留意させる。
展開 2 (10～15分)	<p>LEGO で制作した作品を比較級、最上級の表現を使って簡単に表現できますか？</p> <ul style="list-style-type: none">完成したLEGOの作品について、英語で物語を表現できるように準備をする。 (※5文以上の英文であり、且つ比較級、最上級の英文を必ず入れることが条件)	<ul style="list-style-type: none">ワークシートに発表原稿となる英文を書かせる。LEGOの作品に合った英文を考えさせ、他グループが発表内容を理解できるように工夫をさせる。 →文法的に正しいか、正しい発音で読めるか、ジェスチャーなど聴き手が理解し易い工夫を考えさせる。

<p>展開3 (5～ 7分)</p>	<p>LEGO で制作した作品を説明する英語を聴いて、どんな内容か理解できますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> 各グループが順番に発表をする。 他グループの発表を聴き、その内容を理解する。また、そのグループの「テーマ」が何であるかを予想し、ホワイトボードに解答を記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> 聴き手を意識した発表をさせる。 他グループの発表をしっかりと聴き取らせる。 比較級、最上級の英文について、発表する側も聴き取る側も意識をさせる。 LEGO の作品が見易くなるように、TV に作品を投影する。 発表の際、待機場所を設けることでスムーズにグループの入れ替えができるようにする。
<p>まとめ (3分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本時の目標について振り返る。 英語で挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 振り返りシートを記入する。 →本時の目標を達成できたか、自己評価をワークシートに書かせる。 大きな声、元気な表情でできているか確認する。

Making Story ~By Using LEGO!!~

目標: LEGO で制作した作品を比較級、最上級の表現を使って簡単に表現できますか?
LEGO で制作した作品を説明する英語を聴いて、どんな内容か理解できますか?

MEMO

Script (Over 5 sentences including 比較級&最上級!!)

今日の授業を振り返って…

